

ホッケーを中心とした球技の歴史

History of Field Hockey and Other Ball Sports

1K05A075

窪田 哲士

指導教員

主査 加藤清忠先生

副査 矢島忠明先生

序章 はじめに

私は過去に、部活動でサッカー、ホッケーをしてきたが、それらの競技がどのようにして誕生したかなど、知らないことが多い。またホッケーは日本国内ではマイナー競技である。そこでメジャー競技の歴史を調べることにより、ホッケーが今後日本でメジャーになるにはどうしたらよいか自分なりに考察してみることにした。

第一章 サッカーの誕生

サッカーは紀元前から世界各地の大衆の間で楽しまれていた。そんな中でイギリスは学校の協力もあってサッカーチームが多数作られ、各チーム同士での試合が盛んに行われた。このようにイギリスはサッカーチームの組織を最初に作ったことが近代サッカー発祥地と言えるであろう。

第二章 サッカーの国際組織化

20世紀にはいとヨーロッパでは国際試合への要望が高まってきており、また、国際試合をするにあたってのルールの一統の要望も高まってきた。1904年に国際サッカー連盟(FIFA)が設立された。その後、FIFAに仕事が集中するのを防ぐために、各大陸にサッカー連盟が作られることとなった。

第三章 日本サッカーの歴史

日本に最初にサッカーチームは1896年にできた東京高等師範学校(現筑波大学)である。その後、学校を通じて日本にサッカーが伝わっていった。1921年に今の日本サッカー協会の原型がで

きる。1993年にはプロリーグが開始され、日本サッカーはレベルアップしていき、近年では3大会連続でワールドカップに出場している。

第四章 ラグビーの歴史

ラグビーはサッカーから分かれた競技である。1823年にロンドンの郊外の学校でサッカーの試合をしていたエリス少年が、サッカーボールを手を持ってゴールに向かって走っていった事がラグビーの起源とされている。

第五章 日本ラグビーの歴史

1899年に慶応義塾大学の英語教師のクラークによって伝えられた。その後は、学生を中心に広まっていき、戦後からは社会人チームが誕生し、日本ラグビーの競技レベルを上げていった。しかし、第一回大会から出場しているワールドカップでは、まだ1勝していない状況であり、国際レベルでは低迷を続けているのである。

第六章 ホッケーの歴史

ホッケーの起源は古代エジプト(紀元前2000年)にあると言われており、ナイル川流域の壁画にその様子が描かれている。近代ホッケーの発祥地はサッカー、ラグビー同様イギリスであり、1871年には最初のホッケーチームが作られた。1908年にホッケーはオリンピック種目として認定され、1924年に国際ホッケー連盟が設立された。

第七章 日本ホッケーの歴史

日本へは1906年に英国人の牧師、グレー氏に

よって慶応義塾に伝えられた。1932年にはロサンゼルスオリンピックで銀メダルを獲得している。その後はメキシコオリンピック出場を最後に男子はオリンピックに出場していない。女子はアテネ、北京と2大会連続でオリンピックに出場しているが、上位進出まではっていない状況である。

終章 まとめ

サッカー、ラグビー、ホッケー、と3つの種目の球技の歴史を調べたが、どれも近代的な発祥地はイギリスであることが分かった。3つの球技を比較して、今後日本でホッケーの競技人口が増えるには、もっとホッケーの試合をメディアを通して放送して、まずは認知度を高めていく必要があると私は感じた。